

一九九〇年度第二回運営委員会記録

日時 一九八九年十二月二十五日

場所 中央大学駿河台記念館

出席者 相川良彦、磯辺俊彦、大川健嗣、工藤清光、高橋明善、高

山隆三、長谷川昭彦、松岡昌則、松田苑子、安原茂、吉沢

四郎、柄澤行雄

△報告事項▽

一、事務局

① 『研究通信』第一五九号の編集・発行予定について

内容 大会印象記、総会・各委員会記録、住所録訂正、会
員動向、他

発行 一九九〇年一月上旬中旬

② 会員動向について

入会 坂本礼子（関西学院大学大学院）

木嶋正浩（早稲田大学大学院）

Uメーワルト（ドイツ日本研究所）

布施晶子（札幌学院大学）

退会 押金文雄（長野経済短大）

二、編集委員会報告

① 「村研年報」第二五集を発行したが、英文目次中に誤りがあり、訂正を『研究通信』第一五九号に掲載する。

② 「村研年報」第二六集の自由論題への申し込みが五件届いて
いる。

△審議事項▽

一、会則の改正について

一九八九年度総会での審議を受けて第一回運営委員会において、研究会代表の設置に伴う会則の一部改正案が作成されたが、その後、総会および運営委員会で議論の拠りどころとした会則が一九八四年（第三二回大会）に全面改正される以前のものであることが判明したので、あらためて八四年改正の会則に基づいて審議した結果、以下のような改正案を作成した。

E 会の運営および組織

（現行）一、会の運営は大会において選出された運営委員が担当する。

（改正案）一、本会に運営委員会をおく。運営委員会は本会を代表し、本会の運営に当たる。運営委員は総会において選出する。

この、改正案を次回大会での総会に諮る。

△なお、参考までに現行の会則全文を後掲しておきます。▽

二、九〇年度共通課題と宿題委員の選出について

① 大会でのアンケート結果を参考にしながら検討の結果、八九年度に引続き「農村社会編成の論理と展開」を九〇年度の共通課題とすることに決定した。その具体的な内容や研究会の持ち方などについては、宿題委員会に一任することにした。

② 宿題委員に蘭信三、磯辺俊彦、工藤清光、高橋明善の四会員を追加選出した。

③ 第一回宿題委員会を二月一六日に開催する。

三、第一回研究会の開催について

① 第一回研究会を一九九〇年二月一〇日に開催する。

② 報告者・テーマなどは宿題委員会にて決定する。